

新潟大学

共創イノベーションプロジェクトシンポジウム

地域と大学が紡ぐ 魅力ある新潟へ

新潟大学は、地域と大学の組織型連携「地域共創」により、新潟を、若者たちが活躍したくなるような、より魅力的な地域へと発展させるための新たな取組を企画・推進します。

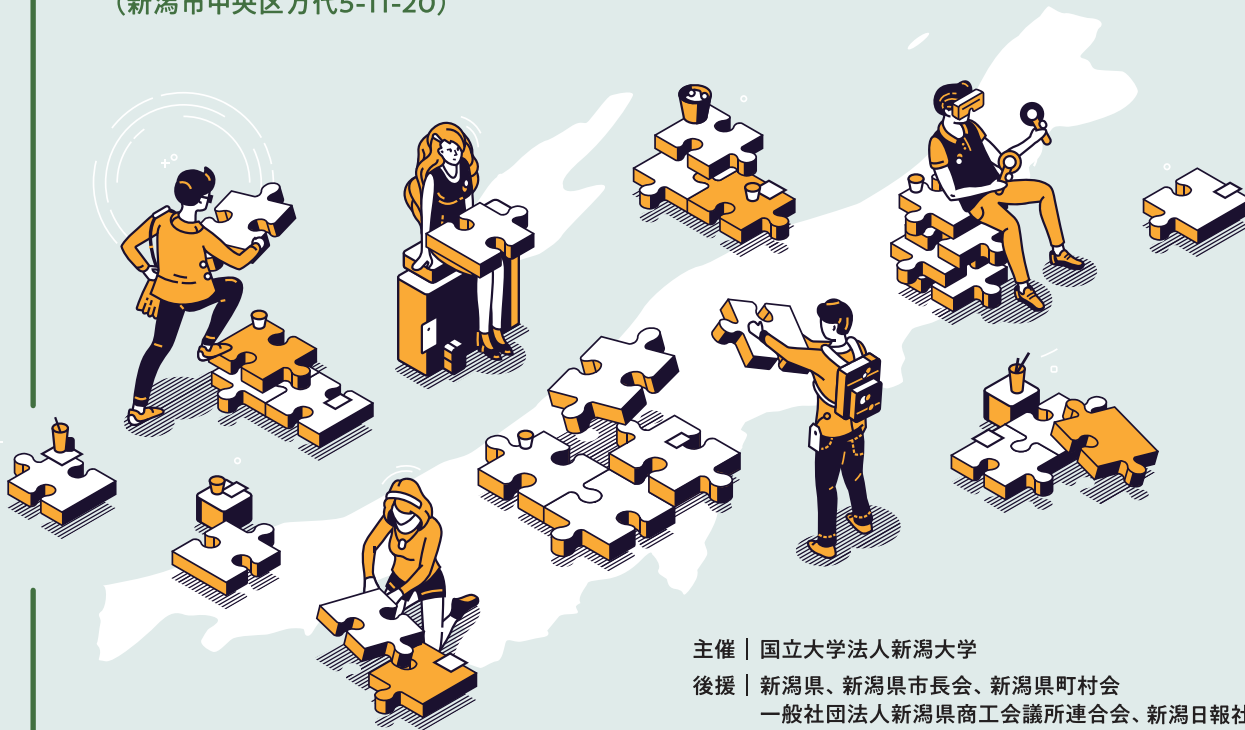
本シンポジウムでは、取組の趣旨や目指す姿、自治体・地域のビジョンと大学の「知」をもとに設定した6つの重点領域の説明や事例紹介等をいたします。その後、「紡(つむぎ)の会」と称し、6つの共創イノベーションプロジェクト(共創IP)の説明及び自治体や産業界等の皆様と直接対話する場を設けます。

この新しい取組により、地域や産業の将来像「夢」を紡ぐ共創活動を新潟全域へ波及させ、大学の「知」を核とする地域創生の日本のモデルを目指します。

2023年2月7日(火) 14:00-17:10

ANAクラウンプラザホテル新潟

(新潟市中央区万代5-11-20)



主催 | 国立大学法人新潟大学

後援 | 新潟県、新潟県市長会、新潟県町村会
一般社団法人新潟県商工会議所連合会、新潟日报社

PROGRAM

第1部

- 14:00-14:05 **開会挨拶** 新潟大学長 牛木 辰男
- 14:05-14:10 **来賓挨拶** 新潟県知事 花角 英世 氏 (調整中)
- 14:10-14:25 **地域の中核となる大学の必要性(仮)** 文部科学省大臣官房審議官・内閣府地方創生推進事務局審議官 西條 正明 氏
- 14:25-14:40 **共創イノベーションプロジェクトについて** 新潟大学理事 川端 和重
- 14:40-15:05 **事例紹介** 高知大学副学長(地域連携担当)・次世代地域創造センター長 石塚 悟史 氏

第2部

15:15-17:05 **「^{つむぎ}紡の会**」

15:15-15:35 **共創イノベーションプロジェクト(共創IP)の紹介**

6つの共創IPについて、新潟大学の担当教員が、共創IPで目指す姿、それに向けて考えている取組などを、プレゼンテーション形式でご紹介します。(1共創IPあたり2分)

共創イノベーションプロジェクト(共創IP)



コメ共創IP

コメ生産日本一の新潟が培った知見やノウハウを活かして、温暖化などの気候変動に対応すべく、品種・農法の改良、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進する。



おいしさDX共創IP

日本酒をはじめとする新潟の人・技・気候風土が生み出す豊かなおいしさとベアリングがもたらす広がりや科学的に解明し、食に関わる産業の高付加価値化、新規事業の創成等を目指す。



モノづくり共創IP

モノづくり分野が融合してクラスターを形成し、最先端の技術を地域社会と共有して、持続可能な未来型の地域創生プロジェクトを実現する。



防災街づくり共創IP

地球温暖化による災害の極端化や新潟地域に特徴的な災害(地震、津波、土砂災害、雪害など)に加え、人口減少や高齢化による急速な社会変容に対応した地域防災を共創する。



地域医療DX共創IP

医療DXを活用して、少子高齢化と人口減少、医師不足・偏在、医療施設へのアクセス不均衡による医療格差といった新潟地域が抱える課題の解決に取り組む。



佐渡共創IP

佐渡地域の特徴を活かし、5つの共創IPの取組を中心とした社会実装の場として大学のサテライト拠点を設置する等、地域と大学との共創活動による地域創生を推進する。

15:35-17:05 **対話の場**

地域や産業界の将来像「夢」に向けて、新潟という1つの船に乗った乗組員全員で、その夢を共有・発展させ、具体的に実行するための意見交換を行います。

6つの共創IPおよび地域と協働して人材育成に取り組むリカレント事業について、それぞれブースを設けます。ご関心のあるブースにご参加いただき、魅力ある新潟を目指して夢を紡ぎましょう。(1ブース30分、3巡)

- 17:05-17:10 **閉会挨拶** 新潟大学理事 川端 和重

申込方法

定員

100名

URLまたはQRコードの申込フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/GvR9jsWD1g>

申込期日 / **2023年1月18日 水**

※会場の都合上、人数を調整させて頂く場合がございます。



お問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構 Tel/025-262-7554 E-mail/onestop@adm.niigata-u.ac.jp

